
信州大学教育学部附属長野中学校 1 学年（フードロスチーム）－ 持続可能な社会の実現に向けて

附属長野中学校の 1 年生・フードロスチームでは、食品廃棄の現状に注目し、「給食で余ったものを活用する」ことをテーマに、紙やプラスチックの代替素材づくりに挑戦しました。身近な行動から社会を変える力を体感する活動となりました。

フードペーパーと表彰状の連携

野菜くずを再利用して紙を作り、学校内で使用する「給食週番表彰状」に活用。給食への感謝や食品を大切にすることの意識を広めることを目的とした、学校内との連携活動が展開されました。

牛乳で作るバイオプラスチックへの挑戦

余った牛乳を使ってバイオプラスチックを試作。絵の具の影響や乾燥時間の工夫を繰り返し、最終的にはマグネットとして活用できる素材を完成させました。食品ロス削減とものづくりが結びついた活動です。